

# 1 部

学習サポート

## 2 / 2 ~ 3 / 31の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着をお願いいたします。

(注) 備考欄の『レポート課題集』参照ページについては、『試験・スクーリング 情報ブック2014』1部に記載の変更内容も併せてご確認ください。

### ■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
2・3月科目修了試験	レポート・申込みハガキ	2月10日(火)
冬期スクーリングⅣ (3/7~3/15)	申込みハガキ	2月12日(木)
春期スクーリングⅠ (3/21~3/29)	申込みハガキ	2月26日(木)
春期スクーリングⅡ (4/11~4/19)	申込みハガキ	3月19日(木)
オンデマンド・スクーリング	Web上で申込み	2月2日(月)正午 『With』104号 p.42表参照
追加履修申込締切 (10月生のみ)	巻末申込書	2月25日(水)

	受付日
<p style="text-align: center;"><b>レポート</b></p> <p>(レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)</p>	2月5日(木) 2月17日(火) 2月26日(木) 3月10日(火) 3月17日(火) 3月31日(火)

※「スクーリング受講者専用別レポート」締切：(郵送) 受講後1カ月以内  
(オンデマンド)『情報ブック』3部参照

## ■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締切日	備考
<p>★■社会福祉援助技術演習A 2・3単位めレポート ◆社会福祉援助技術演習I 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)</p>	5月「★■演習B」 「◆演習II」受講 希望者 →3月15日(日)	『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■演習A」 p. 133～137 「◆演習I」 p. 187～191
<p>★■社会福祉援助技術演習B・◆演習II スクーリング受講申込用紙 (本冊子巻末) + 1単位めレポートなど 受講条件の達成</p>	5月受講希望者 →3月15日(日)	『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■演習B」 p. 138～141 「◆演習II」 p. 192～195
<p>★■社会福祉援助技術実習指導A 課題2 (『課題ノート』p. 8～17)</p>	2月受講者 →当日持参	『レポート課題集 2014(社会福祉編)』 「★■指導A」 p. 147～150 + 『With』104号 p. 68～69

## ■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
◆★精神保健福祉援助演習 スクーリング受講申込用紙 (本冊子巻末)	6・7月受講希望者 →3月15日(日)	
■精神保健福祉援助演習A 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)	1/24・25受講者 →2月20日(金)	(注) 『レポート課題集 2014(社会福祉編)』
■精神保健福祉援助演習B 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)	1/24・25受講者 →2月20日(金) 3/7・8受講者 →3月31日(火)	「◆★演習」 p. 266～270 「■演習A」 p. 237～240
■精神保健福祉援助演習C 2単位めレポート (スクーリング事後レポート)	2/14・15受講者 →2月28日(土)	「■演習B」 p. 241～245 「■演習C」 p. 246～249
■精神保健福祉援助演習C (実習免除者用) スクーリング受講申込用紙 (本冊子巻末)	2月28日(土)	「■指導A」 p. 250～253 「■指導B」 p. 254～257
■精神保健福祉援助演習C-1+指導B-1 スクーリング受講申込用紙 (本冊子巻末)	2月28日(土)	+『試験・スクーリング 情報ブック2014』 p. 37～41
■精神保健福祉援助実習指導A 課題3-② (実習A事後レポート)	3/7・8受講希望者 →2月20日(金)	

## ■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書（・個人調査票のコピー）提出	4月実習開始者 →2月15日(日) 5月実習開始者 →3月15日(日)	※事前指導受講済者のみ対象
教育実習の事前事後指導 事前指導スクーリング受講申込み (本冊子巻末：春期スクーリングⅠ申込ハガキの提出)	3月受講希望者 →2月26日(木)	『レポート課題集 2014(心理・教職編)』 p. 179～182
障害者教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング受講免除申請書類	3月受講免除希望者 →2月13日(金)	
障害者教育実習の事前・事後指導 事前指導スクーリング受講申込み (本冊子巻末：春期スクーリングⅠ申込ハガキの提出)	3月受講希望者 →2月26日(木)	『レポート課題集 2014(心理・教職編)』 p. 254～259

## ■そ の 他

### ●4月生（正科生）

- ・年度内評価レポート提出期限 2月28日(土)
- ・学費納入期限 3月31日(火)
- ・休学・退学・復学届提出期限 3月31日(火)

### ●心理学研究法Ⅱ 1単位め課題2レポート提出期限

- (3月卒業希望者は2単位めレポートも) 3月10日(火)
- (3月スクーリング受講済者) 3月17日(火)

● 3月卒業希望者

- ・再提出レポート提出期限・スクーリング受講期限 2月20日(金)
- ・心理学研究法Ⅱ 1単位め課題2・2単位めレポート提出期限  
(3月スクーリング受講済者) 3月10日(火)

●卒業研究

- ・2回めガイダンス申込締切(福祉心理学科のみ) 2月2日(月)

# 説得力のあるレポートを 書くために

教員 MESSAGE

准教授 大内 真弓

## スクリーングを終えて

『科学的な見方・考え方』とは、いったいどうすることですか？

スクリーングでしばしば聞かれる質問です。考え方や方法に関する質問はよくありますが、科目の名称そのものに疑問を感じているとなると、さすがにこちらも様々なことを想像してしまいます。

「学習を進めようとしても、不安が先立ってしまっていたのではないか？」

「レポートを書く時、どう書いたら良いのかわからないのではないか？」

「そもそもこの科目を履修しようと決めたのは、どんな思いからか？」

もはや、ここまでいくと、いったいどこから始めれば良いのか？…となるので、そうならないように、今回はそもそも「科学的な見方・考え方」とはどうすることを指すのか？という疑問が少しでもクリアになることを目指してみます。そして、科目の方向性が想像できないために、履修そのものをあきらめている方や迷っている方がいらっしやったら、履修を検討する材料になるような内容になればと思います。

## 「科学的な見方・考え方」とはどういうことか？

「科学的な見方・考え方」とは、『誰が・いつ・どこで・誰に』説明しても、同一の内容が正しく伝わるという、『他者を納得させることができる方法』と言うこともできます。

「誰が説明しても同じ」ということは、説明する人の社会的な地位や知識、知名度などは無関係であるということです。メディアに登場するよう

な有名人が話す内容は大変な注目を集めますが、同じ内容の話を家族から聞いても、聞き流してしまうことの方が多いかもかもしれません。しかしながら、科学的な手法を用いれば、誰が説明しても十分に納得させることができるのです。

「いつ説明しても同じ」ということは、説明を受ける人の状況として、テーマに関する知識を既に持っているのか、それともこれからその知識を学ぶのか、といったタイミングはいつでも良いということです。仮に事実と異なる先入観を持ってしまっても、それを打ち消すほど納得できる説明がなされれば、知識はスムーズに改められます。

そして、正しいことが伝わる条件として、場所や相手を選ぶことはあり得ません。「どこで」「誰に」説明しても、正しいことはしっかりと伝わるはずなのです。

## 「科学的な見方・考え方」はなぜ必要か？

では、なぜ時として正しく伝わらないという現象が起こるのでしょうか？それは、相手を納得させるだけの材料を示していない場合に起こることが多いのです。このような「正しく伝わらない」という状況を避けるためのひとつの手法として、「科学的な手法」を用いて説明をするという方法があります。「百聞は一見に如かず」ということわざがありますが、まさにこのことわざのとおりのことを指しています。「百回人から話として聞くよりも、一度でも自分の目で見た方が確かに思える」ということなのです。

では、どのような材料であれば自分の目で見るのが可能なのでしょうか？これは、いわゆる視覚情報というものが該当し、グラフや表、写真などのことを指します。例えば、棒グラフは棒の長さの違いで、円グラフは扇形の占める面積の違いで、値の大小を示すことができるため、どの項

目が最も大きな値を示しているのかが一目瞭然でわかります。項目を数値で表現した表であれば、グラフではわかりにくい細かい値まで正確に伝えられます。写真であれば、どんな巧みな言葉を用いても表現しきれない状態や、数値で伝えられてもその程度が把握できない様子を、画像としてそのまま示すことができるため、リアルに伝えることが可能です。NASAの衛星写真や脳の画像解析写真は、そのままでは素人にとって非常に難解なものです。ちょっとした見方を説明してもらえれば、誰にでもわかる状況説明の情報は早変わりします。

そして、これらの情報の最大の特徴は、誰が見ても同じに見えるという点です。勘違いや誤った解釈をされることは稀にありますが、同一のグラフや表などの視覚情報が全く別なものに見えるということはありません。これが言葉のみの説明となると、言い回しや語気、受け取る側の状況などによっても、違った印象に伝わってしまうことが多々あります。万が一、誤った解釈の説明を加えてしまったとしても、グラフが提示されていれば、こういう解釈の方が正しいのではないか？と、他者が解釈の誤りに気付いてくれるケースもあるほど、視覚情報はわかりやすいものなのです。

## 説得力のあるレポートを書こう

---

以上のことから、レポートという表現方法で他者に自分の主張を正確に伝えたい、納得して欲しい場合には、「科学的な手法」を用いることが大変効果的であると言えます。自分が「思った」もしくは「考えた」という意見だけでは、主観的な考え方と受け取られても仕方がないのですが、そこに「厚生労働省が調査した結果のグラフ」や「環境省が測定した値の表」という客観的なデータが挿入されると、確かに誰が考えてもそのように考えるのが妥当であるという流れを作ることができます。

もちろん、データを挿入しただけでは不十分で、そこにそれらのデータ

をどのように分析し解釈したのか、という適切な説明が伴わなければなりません。この「論理の武器となるデータ」と、「それに適した説明」の両方がそろって、初めて客観的に説得力のあるレポートの要件を満たします。

慣れないうちはデータ探ただけでかなりの労力を費やしてしまうことがあります。レポートのテーマを考える時にどのような数値データが必要かを平行し想定しておき、多くの資料の中から最も適したデータを探し当てるつもりで臨むと、的外れなデータで我慢することが少なくなると思います。

どうか、柔軟な発想でテーマに取り組み、自分の主張にも時には批判的になりながら、説得力の高いレポート作成を目指してみてください。なお、書き上げたら一度離れて少し時間をおき、冷静に見直すブラッシュアップを忘れずに！ みなさんからのレポートが届くのを楽しみに待っています。